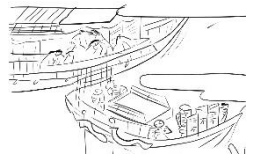


# えまき 絵巻

絵巻物という何を思い浮かべますか？妻に聞くと、「壇

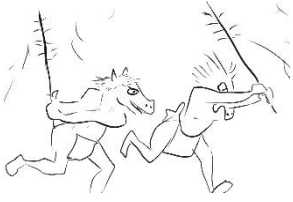


ノ浦の合戦」と答えました。合戦絵巻がイメージとして強いでしょうか。

日本の最初の絵巻は、八世紀に中国の「絵因果経」を複写したものです。これは、お釈迦様の生涯や前生譚が説かれる因果経の内容に合わせて絵を描き、絵の下に経文を記す形式でした。

その後、様々な形で発展し、平安時代中頃から鎌倉時代にかけて全盛期を迎えます。

説話や物語を取り入れた絵巻が登場、「源氏物語絵巻」などです。仏教絵巻としては「地獄草紙」や「餓鬼草子」が登場します。鎌倉時代になると、鎌倉新仏教の隆盛ぶりが表れ、親鸞聖人、一遍上人、法然上人などの祖師伝絵巻物が作られました。



絵巻物には、絵と文字が交互に出てくるもの。同時にあるもの。前半は絵、後半は文字と、いくつか型があります。どこかの展覧会などで絵巻を見ることがあれば、文字と絵の両方を注目してみてください。

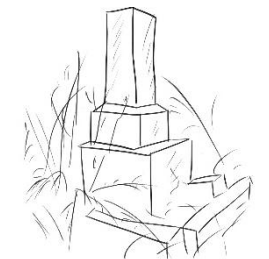
手の平返し  
よく言えは  
臨機応変、時勢に  
富むて空気が読める  
とていへる。

## こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

# えん 縁

「いいご縁だったねえ。」「これは悪い縁だ、なかったことにしよう。」「どこかで使ったことはありませんか。」



りませんか。

「縁」は比較的的日常で使われているかもしれませんが。縁とは結果を引き起こすための間接的原因を縁といい、直接的原因は因といいます。例えば花が咲くためには、種(直接的原因)と水・日光など(間接的原因)が合わさり果を生じます。

最近、社会問題として取り上げられるものに、無縁墓があります。これは、お墓という因に対して誰も見るものがないなくなつたという縁が加わり、どうするの？という果が生じたのです。

仏教で、目指すものは仏となること。仏縁が無ければなることはできません。うちの子供は言います。

「ウルトラセブンになりたーい」

なれません。縁がありません。仏になるにもそれ相應の行が出なければなることはできないのです。

いずれの行も及び難い我が身です。阿弥陀如来は縁なき衆生を



目当てとして本願をたてられました。なんともつたないことではありませんか。